



発行所 弘前市馬屋町6の2 青森県立弘前工業高等学校同窓会 印刷所 やまと印刷株式会社



ご挨拶 同窓会会長 福士晃昭

令和七年七月に開催された同窓会本部総会において第九代同窓会会長を拝命いたしました福士晃昭と申します。

同窓会の皆様方には日頃より同窓会活動にご理解と多大なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私は昭和五十五年本校建築科を卒業し現在は弘前市内にて建築設計を専門とした会社を経営しております。

社員七人のうち弘工OBの技術者が四名在籍しており日々建築設計業務に勤んでおります。

弘工という学び舎で培った分野が生業となり充実した日々を送れることに母校には心から感謝しております。

会長に就任してから県内外各地で開催される支部総会には積極的に参加させて頂きました。

故郷から離れた地で支部会員の皆様と接して母校弘工に対する想いや望郷の想いを格段に強く感じます。

この素晴らしい伝統を誇る弘前工業高等学校が更に繁栄し皆さんで祝福を分かち合えることが何よりの喜びであります。



伝統を紡いで 校長 工藤和樹

同窓生の皆様におかれましては、日頃より、本同窓会の活動に対し、温かいご理解と多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、皆様の母校である本校の生徒たちは、今年度も様々な分野で目覚ましい活躍を見せてくれました。

また、情報技術科の生徒たちは、昨年に引き続き「国際イノベーションコンテスト」で国内四位、「若年者ものづくり競技大会」では、二職種で敢闘賞受賞となり、全国レベルで活躍しています。

台湾交流も引き続き行われ、台湾の大安高級工業職業学校へ訪問してきました。そこでは両校の生徒が学校の状況を英語で説明したり、本校生徒が授業に参加したりと、同じ工業を学ぶ生徒として積極的に国際交流している姿にとても感心しました。

令和七年度同窓会総会・交流会

令和七年度同窓会総会は、七月五日(土)弘前パークホテルにて行われました。総会は次第に沿い進んだ。役員改選により福士晃昭副会長(A55)が第九代会長に推挙されました。それに伴い吉澤俊寿前会長は、永年の同窓会活動への尽力に対し、感謝状及び記念品が贈呈されました。



生徒たち一人ひとりのひたむきな努力はもちろんのこと、熱心な先生方の指導、そして何よりも、保護者の皆様、地域の皆様、そして同窓生の皆様からの温かい応援と深いご理解があつたからこそ、深く感謝しております。生徒たちの目標に向かって真摯に取り組む姿勢は、私たちに大きな勇気と希望を与えてくれます。彼らがそれぞれの活動を通して得た経験や学びは、今後の人生においてかけがえのない財産となることでしょう。

結びになります。同窓生の皆様の益々の健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。今後とも本校教育活動への変らぬご理解とご支援をお願い申し上げます。



その後、新入会員の紹介があり出席者九名を代表し、土木科の西谷大朗君が挨拶をしてくれました。休憩をはさみ、いよいよ交流会です。今年度は、工芸科/木材工芸科/インテリア科が担当幹事となり、一月から実行委員のみならず共に準備してきました。司会進行は、志村洋子幹事と三上和美幹事(IH6)の同級生コンビ、開会宣言のあと、清野真由美幹事長(I56)挨拶、福士新会長挨拶、戸田則男東京支部長(E41)乾杯のご発声と続き、しばし懇談。



毎年恒例の抽選会は梅村麻恵幹事(IH4)の進行で、各支部からのお土産を含む豪華景品が用意されました。今回の目玉特賞はロボット掃除機「ルンバ」で、当選は藤田寿土木科主任が引き当てました。会も終盤、機械科会員が上がりました。県外各支部のみさんにはサプライズでつがる藩ねぶた村の「ミニ金魚ねぶた」、さらに抽選で三上義夫幹事(F39)作の「美人画」二点も抽選を行い、贈呈されました。

登壇、来年度の交流会担当幹事長の成田学副会長(M56)に同窓会旗が手渡され引継ぎされました。機械科のみなさん宜しくお願ひ致します。

中締めは福士良一仙台支部長(A44)の首頭で交流会はお開きとなりました。交流会の企画・運営に関しては半年余り会議を重ね、準備等にご尽力いただきました同窓会実行委員会の皆さん、そしてインテリア科幹事の皆さん、大変お疲れ様でした。

令和八年度総会は、七月四日(土)、弘前パークホテルにて開催予定です。多くの同窓生の方々のご出席をお待ちしております。



令和7年度
青森県立弘前工業高等学校同窓会総会・交流会



令和八年度
青森県立弘前工業高等学校同窓会総会・交流会

母校だより

バレーボール部



- ◎春季大会 優勝
- ◎高校総体 優勝
- ◎その他の夏季大会 青森県代表決定戦 優勝
- ◎新人大会 優勝

硬式野球部



バスケットボール部



陸上競技部



- ◎春季大会 ジュニアB男子円盤投 第2位 石田 翔大
- 第4位 古川 生侖
- ◎高校総体 男子やり投げ 第6位 浅利 謙信

軟式野球部



- ◎春季大会 準優勝
- ◎高校総体 第2位
- ◎全国高等学校軟式野球選手権青森大会 優勝
- ◎新人大会 第2位

バドミントン部



- ◎春季大会 男子学校対抗 第3位
- ◎高校総体 男子学校対抗 第3位
- ◎新人大会 男子学校対抗 第3位

新体操部



- ◎高校総体 男子団体 第2位
- 男子学校対抗 第3位
- ◎その他の大会 東北高等学校新体操競技 第6位

ボウリング部



- ◎春季大会 男子学校対抗 第3位
- 2人チーム戦 第2位 富澤 蒼空
- 第1位 佐藤 愛羅
- 個人戦 第3位 富澤 蒼空
- 第1位 佐藤 愛羅

ボクシング部

- ◎春季大会 学校対抗 第2位
- 男子1部 ミドル級 第2位 今井 峰海
- 第2位 ライトウェルター級 古川 瑛斗
- バンタム級 第3位 渡邊 成世

- ◎新人大会 第6位 菊池 康介
- 学校対抗戦 第1位
- 2人チーム戦 第2位 佐藤 愛羅
- 男子個人戦 第1位 佐藤 愛羅
- その他の大会 東北高校生 ボウリング選手権大会 男子個人 第2位 佐藤 愛羅
- 第9位 富澤 蒼空
- 文部科学大臣杯 全国高等学校対抗 ボウリング選手権大会 第4位 富澤 蒼空
- 佐藤 愛羅
- 全国高等学校ボウリング選手権沖縄大会出場 佐藤 愛羅
- 対馬虎太郎 阿部 佑里

登山部

◎春季大会
個人読図
優秀賞 須藤 利方
大塚 歩武

◎高校総体
学校対抗 第3位
団体男子



◎その他の大会
東北高等学校選手権大会
女子フライ級
第1位 小林瑠奏子

◎ライントフライ級
第1位 小林瑠奏子

男子2部
ライントウェルター級
第1位 堀川 侃璽

女子
ライントフライ級
第1位 小林瑠奏子

男子1部
ライント級
第1位 福士 瑠人
技能賞 福士 瑠人
ミドル級
第2位 今井 峰海
ライントウェルター級
第3位 古川 瑛斗

弓道部

◎新人大会
東日本高等学校弓道大会
県最終予選会
男子団体 第2位



◎新人大会
男子団体 第3位
男子無段の部73kg超級
第2位 古川 碧斗
第3位 齋藤 天斗
男子個人90kg級
第3位 佐藤 祐太
男子個人90kg級
第3位 駒井敬太郎

柔道部

男子個人60kg級
男子個人90kg級
男子個人90kg級

◎その他の大会
男子団体 第3位

◎ライントフライ級
第1位 小林瑠奏子



テニス部

◎春季大会
男子ダブルス
ベスト4 平山 翔太
三浦淳之介

◎高校総体
男子ダブルス
ベスト4 平山 翔太
三浦淳之介

◎その他の大会
高体連テニス専門部
夏季団体戦
男子団体4人制の部
第3位



放送部

◎高校放送コンテスト
アナウンス部門
入選 神 遙斗
ラジオドキュメント部門
第2位「青春の味」
(全国大会推薦)

◎総合文化祭放送部門
ラジオ番組部門
優秀賞
「吾輩も猫である」



卓球部

サッカークラブ部

優良賞
「弘工調査隊、大鰐町を調査せよ」

◎県高等学校キャンベーン
作品コンテスト
ラジオキャンベーン部門
第1位「ユウトです」
第5位「ドラフト会議」



吹奏楽部



将棋部

◎優良賞
「弘工調査隊、大鰐町を調査せよ」

◎県高等学校キャンベーン
作品コンテスト
ラジオキャンベーン部門
第1位「ユウトです」
第5位「ドラフト会議」

工業科

◎第16回国際イノベーションコンテスト
国内最終予選
第4位D3 吉田 翔悟
D2 小山内啓悟
DR7卒 高木 慈永
DR7卒 佐川 天星
DR7卒 鳥居凜太郎

◎第20回若年者ものづくり競技大会
ロボットソフト組込み職種
敢闘賞
D3 下村 美桜



美術部

◎第16回 高校生の「建築甲子園」県大会
優勝
A3 福夢 紗璃
テーマ「豊かな時間を過ごす」
◎高校生ものづくりコンテスト県大会
木材加工部門
A2 相馬 珀來



写真部



建築研究部

D3 三浦 月惟
ITネットワークシステム管理職種
敢闘賞
D3 坂本 夕弦
グラフィックデザイン職種
D3 佐々木優夏



応援団



JRC部



家庭クラブ



漫画研究部

他で売っているという情報も無いので、今のところ「ホンズなし」です。誰かホンズを売っているところ知りませんか？

さて、三八支部開催に先立ち開催された、本部総会において各支部の状況を聞かせていただきましたが、殆どの支部が少子高齢化による会員数の減少傾向にあり、三八支部だけの問題でないことが分かりホッとしましたところ。微力ではありますが、三八支部を維持していくため新規会員の拡大に努力しつつ、新風を取り入れていきたいと思っています。本部のご支援を引き続き賜りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

長くなりましたが、来年度も例年通り開催できるよう努力して参りますのでよろしくお願ひするとともに、同窓会の皆様と本校の益々のご発展・ご活躍を祈念申し上げ終わりいたします。

(三八支部長 長尾憲彦)

東京支部

令和七年度東京支部総会懇親会は、二〇二五年六月二十一日(土)に昨年と同じ大手町サンケイプラザで開催しました。

会員・来賓・旧担任の先生方や今年三月卒業の新人会員八名を含め約五十名の出席により開催されました。

総会では、亡くなられた物故会への黙祷が捧げられた後、戸田支部長(E41)から「通常の六月開催になりました。ご来賓の皆様とも語り合いたい親交を深めたいと思います。」と、挨拶がありました。事務局から、令和六年度事



業報告や会計決算及び令和七年度の事業計画予算報告案委などがあり、原案通り承認されました。

富士見昭同窓会副会長(現会長)、工藤和樹学校長からバレーボール部やボウリング部が県高校総体体育大会で優勝したこと等、母校の近況を詳しくご報告をいただきました。

懇親会では、在京友好団体に来賓紹介と東京青森県人会兼平慎副会長、青森県高校同窓会連合会八木洋一会長よりご祝辞をもらい、当日参加者で、木材工芸科三十九年卒の斉藤武行先輩による乾杯の発声後、懇親会に入りました。所用で欠席の関西支部から激励の祝電披露後、佐藤龍太郎前東京事務所長から故郷紹介等の宣伝をして頂きました。

参加者はお互いの近況などを語り合いながら、歌手の中澤美喜雄常任理事(E42)と津軽三味線演奏のもと民謡と歌謡曲に暫し聞き入りました。恒例の新人会員の自己紹介では、先輩諸兄から励ましの声を掛けられていました。その後、参加者全員で校歌と校

訓を斉唱し、終了しました。閉会は、宇野副支部長(B44)挨拶の後、高窓連八木会長の学生服姿での応援エール「フレィーフレィー」で盛り上がり無事閉会となりました。

遠方よりご臨席賜りましたご来賓・会員の皆様には感謝申し上げます。最後になりますが、同窓会母校の益々のご発展と、会員皆様のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。有難うございました。

次回は二〇二六年六月二十一日(土) 同場所予定です。(東京支部長 戸田則男 事務局 吹田 豊)

東青支部

令和七年度東青支部の交流会は十月四日(土)午後六時から青森市「アラスカ」において開催致しました。ご来賓に本部同窓会から福士会長、川嶋副会長、学校より工藤校長先生、渉外部の三戸先生のご出席を賜り東青支部より会員三十五名出席のもと開催されました。ご逝去されました方々に対し追悼の意を表して黙祷を捧げました。

交流会では前田支部長より支部の近況報告、ご来賓の福士会長より同窓会本部の活動並びに七月五日に弘前市で開催されました同窓会総会・交流会の報告、工藤校長先生から母校健児の学業、スポーツ等多方面にわたる活躍についてご報告をいただきました。三戸先生から弘工健児の活動状況を映像により詳しく紹介

していただき大変好評でした。東青支部では気軽に若手同窓生の参加を促すべく「交流会」と銘打ち、服装も軽装と中心の内容を超えた交流で弘工同窓会の輪をどんどん広げていきたいと思っております。会員の近況報告、雑談、仕事の技術的相談などご年配者におかれましては若手同窓生との親睦を深めることが出来ました。各支部も共通課題である会員の高齢化と出席者数の減少にともない皆様に声掛けをして行きたいと思っております。また交流会開催にあたり協賛していただいた二十社の企業様に感謝いたします。最後になりましたが、母校並びに同窓会の益々の隆盛と会員の皆様のご健康とご活躍を心から祈念申し上げます。(支部長 前田 進)



北海道支部

事務局から、「北海道に来て〇年、津軽弁、どのくらい覚えてますか?」という一〇〇問の資料が出され、懇親会は雑談に花が咲き、来年も会いますよと約束しました。

私は、令和七年七月五日「弘前パークホテル」での本校同窓会に支部長代理で初めて参加しました。総会後の交流会は春に卒業された九名が紹介され、計一四七名。ねぶた愛好会のミニねぶたの入場から始まり、抽選会で盛り上がり、北海道からの抽選品も喜ばれ交流会終了後、二次会、三次会まで楽しい時間でした。私自身が抽選会で当たった女戦士絵はどてもお気に入り、額に入れて大切にしています。(船水 孝(E51))

令和七年四月二十三日「ANAホテル札幌すすきの」で工藤和樹校長をお招きしまして第五十六回北海道支部総会を開催しました。令和六年の支部総会には十名、令和七年は校長先生を含めて六名の開催でした。当支部は連絡のつく会員は約三十名、平均年齢は七十九歳で、年々参加者が減っています。



東海支部

東海支部の令和七年度活動六月には、東京支部総会に出席させて頂きました。七月は本部の総会に出席。青森には車で帰り、つがる市で妹に会い十三湖に着いたら大雨洪水警報避難指示が出ていてビックリしました。いつものように湖畔で昼寝をして、リフレッシュ。蛭貝を郵送手配して小雨の津軽路を弘前へ。本部の総会では各支部の皆さんと親交を温めました。

十月、東海支部の総会を名古屋で開催。今回は四五通の案内を出し、三分の二の出欠返事が届きました。亡くなられましたという連絡が三名ありました。出席は十名でし



た。福土同窓会長、工藤校長、木田関西支部長が出席してくださいました。愛知県から四名、静岡県から三名の出席で、物故者黙祷、皆さんの近況報告、校歌、思い出話や、学校の話などで、仲間だなぁという一時でした。(支部長 小倉 信英)

板柳支部・藤崎支部

懇親会として、令和七年二月十四日(金)、多目的ホール「あぶる」において開催いたしました。当日は会員・来賓あわせて四十五名の皆様にご参加いただきました。

船水信義同窓会相談役、工藤和樹校長のご臨席を賜り、盛大に行われた合同懇親会では、母校の現況や各支部の活動報告に耳を傾け、和やかに歓談し、会員同士、久々の再会に親睦を深めることができました。余興では恒例の大抽選会に加え、地元板柳のパンド「ザ・シッカー」によるミニライブが披露され、会場は大いに盛り上がりました。



また、今年度も新会員を迎え、今後の支部活動においては若い世代からの活発な意見を積極的に取り入れ、板柳支部のさらなる発展を図ってまいります。(支部長 佐々木秀美)

大鰐支部

令和七年度大鰐支部総会は、八月三十日(土)地域交流センター「鰐COMIE」にて開催されました。

今年度は支部長はじめ若手会員を含む二十八名の参加がありました。また、本部より、北畠昌夫副会長、工藤和樹校長、三戸美英渉外部主任の御三方の出席を賜り、母校の近況/活躍等も報告されました。その後、交流会では、恒例の大抽選会などで多いに盛り上がりしました。



結びに、母校の益々の隆盛と同窓会員の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。(支部長 佐々木秀美)



「未来永劫」
同窓会前会長
吉澤 俊 寿

この度、弘前工業高校同窓会会長の任期を終えるにあたり、同窓生の皆様へ心より御礼申し上げます。

私は令和四年七月より第八代会長を務めさせていただきましたが、就任直後からコロナ禍という予期せぬ困難の中で、皆様の温かいご理解と多大なるご協力を賜り、無事に職務を全うすることができました。重ねて深く感謝申し上げます。

この数年を振り返ると、記憶に深く残る出来事が多くあります。

年始めには能登地方を襲った大地震が発生し、九月には豪雨災害が発生し、多くの人々が困難な状況に置かれました。私自身も奉仕活動団体の一員として、津軽地方から石川県珠洲市の炊き出し支援の準備に携わらせていただきました。瓦礫の山の中で懸命に生活を立て直すという人々の姿に接する中で、遠方に居る私たちに何ができるのか、深く考えさせられる機会となりました。

そのような社会情勢の中にあっても、母校の生徒たちは輝かしい活躍を見せてくれました。バレーボール部が県下高校総体で優勝を果たし、またボクシング部

母校の伝統と、革新への挑戦の精神は、これからも未来永劫にわたり、弘前工業高校と同窓会を支え、発展させていく原動力となることでしょう。

会長職を退任いたしますが、卒業生として、今後も母校と同窓会の益々の発展のために力を尽くす所存です。長きにわたるご支援、心より感謝申し上げます。

運営協力費
応募者芳名

今年度は七十九名から五十六万五千五百円のご協力をいただきました。誠にありがとうございます。発行は本会が実施している重要な事業で年一回発行しています。

多くの会員より御協力いただき感謝申し上げます。今年度も運営協力費を一般会計に繰り入れさせていただきました。少子化の影響で収入減となるなか本会財政事情をご理解のうえ一層の御協力をお願いいたします。

- 野澤 武 A 29
戸田 則男 E 41
四万二千円の協力者
光 明 E 41

Table listing names and amounts of donors for the 'Management Cooperation Fee' (運営協力費). Includes categories like '10,000 yen cooperation fee' and '5,000 yen cooperation fee'.

会報についての連絡
同窓会会報は平成24年の発行より全同窓生に送付していません。
今後は学校ホームページでの掲載と希望者のみへの発送となりますのでご了承下さい。

運営協力費納入依頼趣意書
一、趣意 同窓会運営協力費の納入により本会財政への援助を図る
二、対象者 本会全会員
三、目標額 特別に定めていません
四、納入額 一人 二千元から
五、納入方法 郵便払込取扱票及び事務局窓口
六、納入先 本会事務局
七、収支報告 次回会報に掲載して報告する

支部長名簿

Table listing branch names, presidents, addresses, and phone numbers. Includes branches like 'Kan' (関), 'Tohoku' (東海), 'Tokyo' (東京), etc.

口座記号番号
ゆうちょ銀行
00170-2-107631
加入者名
青森県立弘前工業高等学校同窓会

同窓会理事

(〇印常任理事)

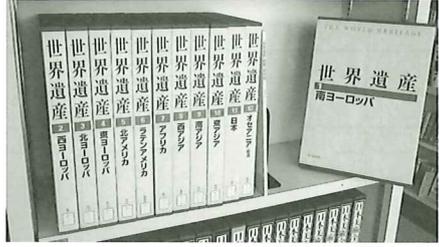
Table of board members including names like 川村真一, 齋藤信隆, 佐藤原誠, etc., with their birth dates and positions.

Table of board members including names like 木村康雄, 澤口正光, 藤田信義, etc., with their birth dates and positions.

Table of board members including names like 木村諒太郎, 小田桐誠一, 石田隆一, etc., with their birth dates and positions.



大館支部長 日景久吉氏 (A19)より、世界遺産全12巻、DVD2巻が本校に寄贈されました。早速、図書館ライブラリーに陳列、教材等に有効活用されております。日景支部長のご好意に感謝申し上げます。大切に鑑賞させて頂きます。ありがとうございます。日景支部長のご長寿お祈り申し上げます。



「世界遺産」寄贈される



特許登録 スプーン・フォーク型デバイス
令和七年三月に情報技術科を卒業した、石沢遙都さん、工藤蓮羽さん、佐川天星さん、高木慈永さん、鳥居凛太郎さん、そして開発をサポートした米田文彦教授(現・県総合学校教育センター産業教育課指導主事)六名で特許を申請したところ、同十一月五日付け登録され関係者一同、喜びに沸きました。この特許は、食品の腐敗で発生するアンモニアガスを検出するセンサーをカトラリーの首の部分に内蔵し、聴覚や視覚などの障害のある人が使用しても認識できるよう、危険性の有無を画面で表示するほか、音

令和七年二月から令和八年二月までに逝去が判明した会員のご芳名です。心からご冥福をお祈り申し上げます。

Table with columns for member names and their graduation years (e.g., 山相岩, 石川, etc.).

会員計報

令和八年度 総会・交流会案内
〇日時 令和八年七月四日(土) 午後五時
〇会場 弘前パークホテル
弘前市土手町一六六
☎〇一七二(三三)〇〇八九
弘前工業高等学校同窓会事務局
☎〇一七二(三三)六二四一

令和八年度 会務報告
令和六年 会計監査(本校 第2応接室)
4月4日 正副会長会議(本校 第1応接室)
4月8日 役員会議(弘前パークホテル 33名出席)
5月8日 役員会議(弘前パークホテル 17名出席)
7月6日 令和六年度総会(弘前パークホテル 17名出席)
令和七年 会報64号発行
2月27日 令和六年度卒業生同窓会入会式(新入会員 17名)
2月28日 会報郵送(役員/支部/運営費協力者他 19通)

や振動で伝える仕組みに 工業高校生による特許取得し、さらに、衛生面を考慮 得は県内初の快挙というこし、食品を乗せる部分を付 とで、本校ものづくり教育け替え可能するなど改良をの歴史にその栄誉が刻まれることになりました。

進路状況について

今年度の進路状況は、昨年度よりさらに、求人数が増え、今更に求人が多くない企業からの新規参入が多くなっている状況であった。特に県外からの求人が非常に多く、基本給が高く、福利厚生が充実しており、二人入社していただければ、継続して採用していただく自信がある。」と、他社に負けない強い自信を持って来る企業が多くなっている。人手不足で人員確保に向けての企業努力が如実に感じられた。

令和7年度 進路状況 ()は女子内数

令和8年2月18日現在

Table with columns: 在籍数, 就職 (県内, 県外, 公務員), 進学 (大学, 短大, 職業能力開発施設, 専修学校各種学校). Rows include 希望者数, 内定・合格者数, 出願中・未定, 合格率, 希望者数合計, 全体に対する割合.

都道府県別 [就職144名・進学54名]

[人数]

Table with columns: 県名, 青森, 北海道, 岩手県, 宮城県, 山形県, 福島県, 茨城県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 石川県, 静岡県, 愛知県, 大阪府, 鳥取県. Rows include 就職, 進学, 合計(%).

就職組については、今年目内で内定をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。ただ、まだまだ県外希望者が多く、地元企業の良さをアピールのできていない部分が多くあると思います。色々な形で生徒へ地元の良さをおしえていき、地元の活性化につなげていきたいと思います。

最後に、同窓会の方々にはいろいろな面で進路指導に力を貸していただき、深く感謝申し上げます。今後ともご支援をお願いするとともに、今後の弘前工業高等学校同窓会ですますますのご発展と同窓会の皆様のご活躍をご祈念申し上げます。進路指導部主任 安田清人

卒業生累計

(令和8年3月卒業生含む)

Table with columns: 課程, 旧制 (本科, 第2本科, 第2部, 選科, 専修科, 別科), 新制 (全日制, 定時制), 計 (男子, 女子). Rows include 木工, 漆工, 建築, インテリア, 機械, 土木, 電気, 電子, 情報技術, 電子機械, 工業技術科, 合計.

旧制 青森県立工業学校 (明治43年以降) 青森県立弘前工業学校 (昭和10年度以降)

学校からのお知らせ

卒業された皆さんへ 証明書の発行について

本校を卒業され、社会の一員として又は学生として各地で活躍されていることと思います。今後、各種試験の受験、免許・資格の取得の機会があると思います。その際に必要となる証明書発行の申請は、左記の要領で本校事務室宛に郵送又は電話で申し込んでください。

- 1. 申し込み用紙
2. 返信用封筒(封筒は長形3号の定形サイズ)
3. 発行手数料は、証明書1通につき450円です。
4. 身分証明書(運転免許証、パスポート、マイナンバーカード)

(証明書の種類)
現在、本校で発行している証明書は以下のものです。
・卒業証明書(和文・英文)
・成績証明書(和文・英文)
・調査書(進学用・就職用)
・単位修得証明書

(発行に要する期間)
来校の場合
土・日・祝日を除く8:30から16:30まで。
郵送の場合
申請を受理後、土・日・祝日を除く2日間程度、郵送に要する期間も必要となりますので、余裕をもって申込みください。

〒03618585 弘前市大字馬屋町6の2
青森県立弘前工業高等学校 事務室
TEL 0172-13216241
(受付時間) 土・日・祝日を除く8:30から16:30まで

会員各位の皆様へ

青森県立弘前工業高等学校同窓会は株式会社サトへ名簿製作ならびに調査業務・発送業務を委託しております。その際、お預かりする個人情報等は個人情報保護法に關する日本の法令その他の規範を遵守して自己目的の範囲でのみ利用いたします。詳しくはホームページをご覧ください。